

第 83 回日本農業教育学会大会

公開シンポジウム・総会・研究発表会

主催：日本農業教育学会

後援：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 遺伝資源研究センター

筑波大学大学院 理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 農学学位プログラム

■ 期日 2025 年 8 月 28 日（木）～29 日（金）

■ 会場 文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2-20-5

(TX つくば駅から約 1.1km 徒歩 15 分)

[文部科学省研究交流センター](#)

地図参照 (QR コード)

無料駐車場約 70 台 (9 時から 17 時まで利用可能)。近隣にも有料駐車場あり。



■ 大会実行委員会

実行委員長：田中 大介 (農研機構 遺伝資源研究センター／筑波大学 生命環境系)

実行委員会連絡先：〒305-8602 茨城県つくば市観音台 2-1-2

農研機構遺伝資源研究センター 田中 大介

TEL：029-838-7459

E-Mail：dtanaka@affrc.go.jp

■ 日程

8 月 28 日 (木)

10:00～11:30 施設見学 (農研機構ジーンバンク等：つくば市観音台 2-1-2)

12:30～13:15 評議員会 (文部科学省研究交流センター 2 階 第一会議室)

13:30～17:00 公開シンポジウム (文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場)

18:00～20:00 交流会 (Beer & Cafe Engi)

8 月 29 日 (金)

9:00～11:00 研究発表会 1 (文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場)

11:10～11:40 ポスター発表 (文部科学省研究交流センター 2 階 展示室)

13:00～14:00 総会 (文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場)

14:00～15:45 研究発表会 2 (文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場)

■ 施設見学 [8 月 28 日 (木) 10:00～11:30 農業生物資源ジーンバンク(農研機構 遺伝資源研究センター)] (先着 50 名。学会員および大会参加者優先)

連絡先：〒305-8602 茨城県つくば市観音台 2-1-2

農研機構遺伝資源研究センター 資源保存ユニット

TEL：029-838-7459 [遺伝資源研究センター](#)

地図参照 (QR コード)



現地集合 (TX つくば駅、TX みどりの駅からコミュニティバス (つくバス; 片道 200 円) に乗り、農林団地中央バス停で下車。バス停から遺伝資源研究センターまで徒歩 4 分)

施設見学 (現地集合) への移動方法

コミュニティバス (つくバス)	TX つくば駅発 (南部シャトル)	TX みどりの駅発 (自由ヶ丘シャトル)
駅のバス停	9:30	9:00
↓	↓	↓
農林団地中央バス停	9:48	9:19

* つくバスは片道 200 円

路線バス (関東鉄道バス)	JR 牛久駅 (常磐線) 発 (谷田部車庫行)
駅のバス停	9:25
↓	↓
農林団地中央バス停	9:44

* 牛久駅～農林団地中央は片道 490 円

大会会場への移動方法

コミュニティバス (つくバス)	TX つくば駅行き (南部シャトル)
農林団地中央バス停	11:39
↓	↓
駅バス停	12:07

■ 公開シンポジウム [8 月 28 日 (木) 13:30～17:00、文部科学省研究交流センター 2 階 国際会議場]

参加費：シンポジウムのみ参加される方は無料 (先着 170 名)

テーマ：「農業教育の未来：地域からグローバルまで」

趣旨：農業は持続可能な社会の形成において不可欠な役割を担っています。これからの農業教育は、地域社会との連携を深め、グローバルな視点を持ちながら、スマート農業を含む最新技術を活用した指導方法を確立することが求められます。本シンポジウムでは、農業高校での実践や地域との連携、国際的な教育事例について講師の方々からご紹介いただくとともに、北海道大学のスマート農業教育研究拠点による実践事例を共有します。同大学では、スマート農業を担う人材の育成に取り組んでおり、社会実装を見据えた教育プログラムの開発を進めています。こうした先進的な取り組みを通じて、農業教育に求められる革新性と課題について議論し、より効果的な教育方法を模索します。さらに、パネルディスカッションでは、農業教育が直面する課題と未来の姿について専門家や教育関係者と共に議論を深めます。この貴重な機会を通じて、農業教育の可能性を広げ、未来を築くためのアイデアを共有しましょう。

1. **渡辺 勉** (元 秋田県立大曲農業高等学校・校長)
「農業高校での教育プログラムや地域連携の取り組みの紹介」
2. **小出淳司** (国際農林水産業研究センター・主任研究員)
「アフリカの農家へ経営コンサルタント視点を導入した実践事例の紹介」
3. **星野洋一郎** (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・教授/農水省事業スマート農業教育拠点・代表)
「スマート農業教育の可能性について、最新技術を交えて解説」
4. **田中大介** (農研機構遺伝資源研究センター・ユニット長/筑波大学生命環境系・准教授)
「農業生物遺伝資源の教育利用と農業への貢献について考察」

パネルディスカッション：「農業教育の新たな潮流—スマート農業と地域・グローバル連携」

■ 交流会

日時 8月28日(木) 18:00~20:00

場所 Beer & Cafe Engi

茨城県つくば市吾妻 1-10-1 つくばセンタービル 1F

[Beer&Cafe Engi](#)



地図参照(QRコード)

■ 参加費と交流会費

金額は次のとおりです。当日受付でお支払いをお願いします。

	正会員・顧問	非会員	学生会員
大会参加費	3,000	4,000	1,000
交流会費	6,000	6,000	2,000

- ・ 高校生の大会参加は無料、ただし要旨集の配布はありません。
- ・ 当日の参加申込みも受け付けます。

■ 発表・参加申込み

本シンポジウム、大会、施設見学への参加をご希望の方は、事前にお申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、参加費等のお支払いにつきましては、当日会場にてお支払いいただきます。何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第 83 回 日本農業教育学会大会 発表・参加登録フォーム (Google フォーム) からご入力ください。

申込みサイト URL (申込受付中)

<https://forms.gle/A7K7FqhFg8PSZsMC7> → 右の QR コードから申込み



【公開シンポジウムのみ申込み】 令和 7 年 6 月 2 日～8 月 8 日

(公開シンポジウム(無料)のみ参加あり、研究発表なし、大会参加なし、施設見学なし/(あり)、交流会なし、の方)

【大会参加の申込み】 令和 7 年 6 月 2 日～8 月 8 日

(研究発表なし、大会参加あり、施設見学あり/なし、公開シンポジウム参加あり/なし、交流会あり/なし、の方)

【研究発表の申込み】 令和 7 年 6 月 2 日～7 月 23 日(延長しました)

(研究発表あり、大会参加あり、施設見学あり/なし、公開シンポジウム参加あり/なし、交流会あり/なし、の方)

★研究発表要旨の提出：令和 7 年 6 月 2 日～7 月 27 日(延長しました)

交流会キャンセルは 8 月 8 日以降キャンセル料(交流会費)をお支払いいただきます。

学会発表の要旨は、学会公式ページ(大会ページ)より様式ファイル(B5 サイズ)をダウンロードの上、作成してください。作成した要旨は、提出期日内に dtanaka@affrc.go.jp まで、メールに添付して送付してください。

メールタイトルの記載方法:

「【農業教育学会研究発表要旨】○○○○(□□□□□□)」

- ○○ には 発表者のお名前 を記載
- □□□□□□ には 所属先 を記載

詳細は学会公式ホームページまたは大会ページにてご確認ください(随時更新)。

<https://agriedu.jp/>

